

みずほフィナンシャルグループ（FG）は、6月末にテクノロジで新ビジネスを創出する新会社を設立する。社長にはデジタルイノベーション担当役員で、チーフ・デジタル・イノベーション・オフィサー（C D I O）の山田大介常務執行役員が就任・兼務する。

20年めどに付加価値100億円

社長に山田C D I O



山田氏

は4、5人とし、社員「ずつビジネス化している。みずほ銀行のデジタル・イノベーション部門が兼務する。W I しや出資会社などからも社員を派遣してもらう計画。

事業内容は「15〜20個くらいのパイプラインを作りながら、一つク

チェーンを利用した

金融関連ではアプロッ

実質取引（トレードファイナンス）の本邦第一号を6月をめぐりに実施する。これは、みずほFG、みずほ銀、米国のR3（アールスリー）およびコグニザントジャパンの4社が連携する。

このほか、アルゴリズムを使った「負けないダイリリング」やA I（人工知能）を使った画像認識技術を利用する可能性も検討する。

金融以外では農業と技術を融合したアグリテックや、旅行・民泊業者と連携した日本体験的な旅行ビジネスなども検討していく。

みずほFG、新ビジネス創出へ新会社

新会社は「本邦最強のインキュベーター企業」を目指す。6月末に登記し、8月に創業する予定。基本コンセプトは、①オフライン・オンライン②実ビジネスの追求③グローバルな展開―など。米シリコンバレーに本社があるW I L（ウィル）が出資の半分と役員を出す予定。東京・豊田山手へのオフィスビルに設置する。

銀行内だけで対応するにはスピード感を含めて難しい側面があるため、新たな知見を社外に求める。内外異業種のほか、地域銀行とのアライアンス（戦略的提携）も行う。役員

ニッキン 2017年6月2日号より転載

売り上げや収益、投資先の株式公開時のキヤピタルゲインなどトータルで付加価値として、2020年をめぐりに1千億円の創造を目指す。